

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
実践看護学特論Ⅱ(精神保健看護)	1	前期	2	講義 30時間
担当教員	田中美恵子、久保幸代、中島洋一、松丸直美、松谷典洋			
授業概要	精神健康に問題を抱える人々と家族を包括的に評価・アセスメントする視点と方法、および看護実践の質向上に向けた看護援助に関する知識と技法の開発に資する理論と研究方法の修得をはかる。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界および日本における精神保健問題と施策の動向について説明できる。 2. 精神疾患の体系と精神保健問題の概要について理解できる。 3. 精神健康に問題をもつ人の評価・アセスメント方法を説明できる。 4. 援助関係の形成技法を説明できる。 5. 精神科薬物療法の基本を理解できる。 6. 様々な精神保健問題について理解できる。 			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	世界および日本における精神保健問題と施策の動向	田中・松丸	
	2	精神疾患の疾患体系と精神保健問題	田中	
	3	主要精神疾患の理解	田中	
	4	精神機能の評価とアセスメント(MSE)	田中	
	5	援助関係の形成技法 (観察と面接、面接者の態度と感性、来談者中心療法)	田中	
	6	援助関係の形成技法(精神分析療法、認知行動療法、集団精神療法)	田中	
	7	精神科薬物療法	中島	
	8	精神科リハビリテーション、訪問看護、当事者活動	田中・松丸	
	9	せん妄	松谷	
	10	物質依存	中島	
	11	自殺防止	田中	
	12	周産期メンタルヘルス	久保	
	13	子どものメンタルヘルス	松丸	
	14	災害とメンタルヘルス	田中	
15	精神障害者のための地域包括ケアと多職種連携	田中・松丸		
教科書	特になし			
参考書	授業時に紹介			
評価方法・基準	課題レポート(60%)と口頭発表(40%)に基づき、各自の専門分野においてこれまでに経験した精神保健問題について、事例分析をもとに評価し、看護の視点から課題を明確にできているかによって評価する。			
事前・事後学習	事前学習：自分の専門分野における精神保健問題を明確に意識化しておく(1時間程度)。 事後学習：講義での学びを、実践に活かす方策について熟慮し、実践する(1時間程度)。			
備考	特になし			